

◆而かも長春停車場の大豆のみにて◆

● 小農賑恤策

忠清南道本年度新企制
物價騰貴之際、小作人及び貧民の
窮乏を察し、之れが救済方法として
主として貧民の間に飢饉を鬧る
主として、滋谷會館第一部長、石原皮師
及び、鄭參興會館をして各郡へ出張せ
しめたるが、但し鄭參興會館は既に十
七日天安外十箇所の郡里へ出張し、
任在は五月三四日頃なるべく、尙ほ
救済方法は左記の各項目なり

(九) 前各項の外諸種の業務に關
低利に貸與すること
(六) 小作田、苗圃、鋤文又は其購入
費を小作人に給與し又は無利にて
若くは極低利にて貸與すること
(七) 甘蔗、馬鈴薯等を栽培し收穫
物を貧民に給與すること
(八) 麵粉販賣を主米販賣に改め小
作人及び貧民を便益し之れが調
製に従事せしめ賃銀を取得せし
むること

●新軍事顧問

吉林督憲程德全聞は、愈々彼被俄商密謀、高麗、朝鮮、遼東、東三省、府の推戴に係る、歩兵中、佐、藤原恒伝を薦する事に決したり。同氏は最近まで歩兵第八聯隊附なりしが、嘗て上海其他に於て特別任務に就きたる經歷を有し、支那語にも堪能なる人なりと云ふ。

●満洲へ逃げたか

◇但しは南嶺へ逃げたか
住所不定の石工検見縣市二といふよふに去る二月四日平安道大同郡古は、五月一日午後一時興隆神社に渡御、同日午後三時神興隆神社に渡御、同六時町社祭執行、二日午後一時食奥千夜半時退却の著なり(平尾)

解に陥るものである。將來斯の如
 き誤謬の權衡を以てする者を廢し
 毀なくとも海軍の眞の實狀を了解
 して志望する者を要求しなければ
 ならぬ總てに對する國民一般の思

景氣の好い奉天
 ○ 露省の花代が 露形は五割也
 奉天の景氣の好いことは花柳界
 の揚り高で知られる。三月界
 天甘高也一萬五千七百十一

[illegible]

淋疾内用

ドクトル松木齋一郎著
品は速に體內に吸收
ズレ

防属性を與へる尿殺

魚肝油
京都府明治町
振替口座東京
〇四八四六六
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

急使
催促
等
字
櫻
す
れた
粉

淋疾 消也、膀胱、
尿道、痛、見
賞用せらる。

野博士、緒方博士、
須博士は本品に對
する實驗報告を呈せら
る。文獻照し、
本品純劑の二倍あり

電話シ(又)シマ
七四三
大連三
路口座

三共株式會社

轉じて遂に四五萬噸の大船を企てたるなり然るに滿鐵當事者は從來餘り來らざりし東支鐵道の貨物の多きを喜ぶと同時に滿鐵己の收入成績を誇り、滿鐵路線に於ける貨物は他に散逸の恐れなければ先づ此方面の品物を運送して東支鐵道より來れる貨物を先にする計畫を立てたる結果今日の如く一能特產物商の大窮乏となり未嘗有の大停滯を來すに至るなり然るに各港灣一聲に潰潰と對する不平を唱へ來りしと同時に滿鐵當局者に於ても東支鐵道貨物の意外に多量なる沿線特產物商の窮狀に注意し漸く昨今東支鐵道貨物の引受數に制限を加へ沿線停滯品品の搬送を始めよとせるに際し市價底かに十石一對する七八十錢方の暴落となり加ふる大連港より積取るべき艦腹が

●突然の爲に大連完全閉鎖す
再び大連埠頭に大豆の山を見るに主れる有様となれるものにて此の状態にては何時頃潰貨を輸出すべき見込も立たず又特產物商の非力なる苦境を隔ると同時に之れが資金の供給をなせざる勢に在る

●掛合業者は資金の固定に
逢ひ頗る困難し居れり今特產物商の該によれば現在長春、寧安、撫に

救済方法
 (一) 糊種子は青田に随ひ成るべ
 く低利にて貸與し麥豆雜穀、
 紫雲英等の種子は其購入費は之
 を給與し又は無利子若くは低利

●黒龍江の水品採掘
齊か哈爾の實業家支那人某は最近同省穆江九龍山に水晶鑛を發見したるが技師を派して調査の結果果鐵質優良にして産額亦豊富



九州視察團歸報
主商品陳列所樓上より見たる廣傳兩市街の一部
(下) 朝鮮館樓上より街内を見る視察團員

石油蔵の 釜二浦に於ける石油池の
 相傳は松平三國なりしが内地石油池の
 の暴騰にて十九日より三國三十五萬
 錢に騰貴し一斗に付三十五錢高とな
 れり云々(二浦)
 國民一般の
 眞の了解が
 必要である
 俗世思想の普及は急務が
 往に遺憾する不可也
 島内海軍大佐談
 私に是迄痛切に感じて來た事は國民
 民に向つて眞に我が海軍を了解し
 しめねばならぬと云ふ事である
 元來水兵の艦内生活は云ふものけつ
 一般に頗る香々然として放縱な
 の様に解釋せられて居る傾き
 あり世界到處に周遊し
 ◆到處に歡迎されて◆
 男子一代の面目此の位な結構な
 のは無いとせられて居る 其結
 は海軍と云へば必ず一種の憧憬


城內側一萬三千三百二十圓、藝妓の移き高一人最高四百圓より三百圓乃至二百圓以上のもの十五名、百圓以上七名は素晴らしいものである。而して之を合計すれば實に三萬圓近くになるとは驚くばかりである(泰文)

想向上はそこにある從來は單純な人々にして願望する者が多い結果考へて以て志望する者が多い結果

◆體格頗る強壯々
な者は或ひは得らるるが之に比して頭腦の働らく者云ふ方面には誠に心細い狀態であつた、之が爲め我等の教養に苦心する事は一通りでない彼の信託手の如き御覽の通り單に信託腕を打ち振つて居るのみで何の造作も無い様に思はれるが彼れが一分圓に八十度上まで連續して平氣で出来る様になる迄には如何なる努力を要するか

◆教ふる者も勿論
だが智ふ者の苦心も來たら決して一通りでない甚だ失敗云ふ分が田舎に百姓して働を提つて居るに此の頭腦の働らくは容易な事ではないの云ふべきでない、之を以て見ても將來は必ず相當に自覺ある人が眞に海軍を了解して邦家ために盡すの觀念を養はれたら有望なればならぬ

[illegible]



蜂印

なるほい


賞識され

はちじるし


よ

金銀賞状四廿四郎

於東京化學工業博覽會



金



銀

と
美味である
滋養がある
と

か
つ
と
あ
る

香
露
蘭

味つて見て下さい

必ず他品の真似のできない
美味と滋養が見出されず

毎食前一杯づつで元氣



と
美味である
滋養がある
と

か
つ
と
あ
る

香
露
蘭

味つて見て下さい

必ず他品の真似のできない
美味と滋養が見出されず

毎食前一杯づつで元氣

健康を増進する

通

東京東本
近藤利興行

油 醬 上 最

元 造 廣

社 會 株 油 醬 本 日

將第一國會議員
 (三) 水害地復舊土地改良工事
 耕土の改善耕地の整理の如き又は
 未墾地、干涸地の開墾、閑田地利
 用事業を起し、作人及び貧民を
 使役し賃銀を取付けしむること
 (大正六年三月十四日所定法律、第四四四
 号、自昭和三年三月十七號起、其他の生産附
 加等に關する件、參照)
 (四) 製造工業の器具及び資其他
 の製造工業の原料を、作人及び
 貧民に給與し又無料子若くは極
 低利にて貸與し、各自又は會集し
 て作業に従業せしめ賃銀を得せ
 しむること
 (五) 芝生生産地方に於ては原料

(十二)各地に勞働組合を組織し總ての勞働は該組合に於て請負ひ貧民を使役して賃銀を得せしめ荷運、収の類を製作せしめ工賃を得せしむること

(十三)地主の共同出賣を以て干瀆地帯を生地の開墾をなし之れに貧民を移住小作せしむること

(十四)適當の方法を以て縣の預託法を行ふこと(公州)

○朝鮮及び滿洲の勞働地にて

無線電信新設

◆軍事長官の駐在地にて◆

北京よりの報によれば國境防備の

例年の如く五月一日執行す。き平
 壤神社春季大祭に關し十七日夜半
 儀、商業會議所に於て、氏子總代會
 を開きたるが本年は鎮座三週年に
 相當するを以て出来得る限り盛大



◆想像以上の苦心◆

があるのです。偶々軍艦が三港すれば水兵は直ちに上陸して三々五々自由な市街の散策を試みる艦内の觀覽に來た者は洋々たる海自國の影を眺め甲板に行き渡る水兵の盛況を見んやと歸省の水兵は盛都と見做す況んや人情の常として苦痛な事よりも先づ土產語には

◆愉快極まる草々◆

[illegible]

<p>新貨</p> <p>倉庫完全</p> <p>南杉本質店</p> <p>城樓前并二丁目</p>	<p>材料商</p> <p>石割安賣所</p> <p>京城南大町西五丁目</p> <p>中村幸商店</p> <p>電話二二五番</p>	<p>吸入瓦斯發動機</p> <p>附屬品全部完備</p> <p>中古上等</p> <p>要一臺</p> <p>上候</p>	<p>鐵管式拾五匹</p> <p>鋸齒機</p> <p>附屬品全部完備</p> <p>中古上等</p> <p>要一臺</p> <p>上候</p>	<p>モントプ</p> <p>拾二吋</p> <p>壹臺</p> <p>油發動機</p> <p>馬力六十馬力</p> <p>東京池其壹臺</p>
---	---	--	--	--

一切東京製靴各
 覺防水布マント
 法瓶及中瓶
 眼科
 意醫院入
 江頭
 京城明治町
 日曜祭日午後二
 關東都督府硫
 工業用硫酸
 右多少二不拘御用
 朝鮮指定賣
 滿洲

<p>種各取 種替 賣販 口丁 用具 箱內</p>	<p>伍廣(電話二〇四四) 眼科醫院</p>	<p>時送江頭富雄</p>	<p>酸工塲製 六十度六十五度 六十六度 命仰付被下度候</p>	<p>員捌人</p>
---	----------------------------	---------------	--	------------

(二)溜池・沢等水利灌漑の設備築
提其他防水工事を起し小作人及

を組織し富豪の喜捨金を以て基
本財産となし其利子を授産及び

省長しやうの許可きょくを得たり(大連)

考へを以て志望する者が多くはた

明治町二丁目
電話二六〇番
浪花館

四百貳拾方口ニ拂込ミタル出資總額ヲ壹千壹百六拾五圓貳拾五錢ニ合變更ス

專賣品柳

製靴
東京
水産
電

威南の山火事 威南安邊 後援

連絡船上陸客 十九日午
 並山入港對馬丸九一二號客
 等裝公式 (二等派山諸君 各草々に
 許容すること
 (十二) 面若くは里に遠き方の廻り
 同田抽名田

第六名 日正止本町開田千並井位
 甲卯三嶺山銀礦、外人一名、二百六十九
 齊藤富雄土井伊右衛門、岡本近藤、非
 成島本初三、佐藤順太郎新保宗、富
 比、米八甲、遠藤綱、やま、岡元、の
 和二郎、し、岡國藏、星長、之、稻沢宗

以て單に軍人となるなら海軍に入
たいと云ふ單に或ひは平將
少佐、柳澤太郎、坂岡細雄、林松乾、曹
一、郎衣國佐吉、同一、小坂安次郎、
順統、上野爲吉（三零百二十一名）

演藝案内

多事總て一種の預防内の事▲
 後一週以内には剽竊又は同案發
 通告者には五十錢書籍券を呈す
 何書何號と明記に限る▲宛名は
 取日編輯局讀者文藝係
 報

旅

本
年

洋金各種牌

京誠興氏 廿二度八分
廣信所攝氏 廿二度一分
前日最高溫度 七十四度九分
華氏 廿一度六分
攝氏

水

氣溫

(四月廿一日正午)

[illegible]

悟道軒圓玉口演

牛
用
電話一〇六九
御居つて其れが爲め却つて如何なる耻辱を受けんも計らず、夫よりは當所にて潔く自殺をいたす、某方は早々花隈へ逃ぎ、妻細を舍弟に傳へ呉れよ、茲て秋山傳作は涙ながらに支度をしたし、伴左様方は若鷗、御言葉に従ひ御馳いたし、只今の仰せは遂一小太郎様へ言上なし、早刻御無事を曉し奉ります、何卒左様思ひ下さりまするやうと、栗田口國兵の一刀を預り、涙を拭つて塚原城を立出でました。

だんども我方はございせん帯刀は
 書作倅が誼しの様子は程々
 〆 眞正の肘手當所へ向ふに迷ひな
 つゝ此の帯刀は知つての通り、性
 來つての病身、柔弱、身なるゆゑ
 中々父の志を繼ぎ、眞正を討ち
 て御無念を晴らす事思ひも寄らず、
 外科一般皮膚科
 泌尿器科花柳病科
 院長 安部修三
 東京永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
 電話四一九番

越じ名なき妖姫の手に懸つて最
 期いたすは殘念、我は弟に溺より
 戀情をいたす。其方は片時早く
 此處を立ち去り、承れば弟小太郎
 姦は當時播州の花殿の戸澤山に守
 方に罷る在る由、其れへ參つて國
 の大事を告げ、彼れと共に心を

事には別介人となせむよしと云ふ。吾々は
 はし、邪術。新法の手紙にて、便通證書を
 禁ず。三男、あやふき、亦有らば、事半端に
 なれど、姦術秘伝の方、言及罪狀に始し、
 遠近男女誰にも出来る輸出バナマ
 受取契約、利益額料一圓與製品永久
 經賣詳細案内書御一報次順進呈す

原貨職業
 大阪本町南區橋東詰振替一二五七
 店代理
 募集

キン！
 ひぜん
 香芳 いざん水
 大坂市巾着街新町通二丁目
 本舖田知本和三郎製
 各藥店販賣 振替大阪八八番



健康の基礎は

この一事にあり。

ライオン歯磨石

朝起きた時と
夜寝る前の

身体しんたいの健康けんこうは齒はの健全けんぜんより來きる。

東京市外町
小島富太郎
支店
三田

(D29-7)

内外の別なく

春暖かな時候になれば、皮膚の化粧衛生は一入注意を要します。そして朝夕に使用さるる石鹼としては、品質の最も純良である

品質本位

花王石鹼

第一に選ばれます。

花王石鹼製造元東京市大崎町長瀬商會
 總發售所東京市大崎町長瀬商會
 花王石鹼總代理大崎商會

○ド將軍日本に向ふ

○露官憲携帶留制限

伊太利兵の浦鹽行

敵百廿六個師團出動

○アウレ河畔の敵を驅逐

●伊國數個師團出征

●印度總督巡回中止

後一時漢口に向へり停車場沿道には軍隊を配置し警戒嚴重
は軍樂の吹奏と共に發するや黒の軍服を著けたる總理は無

○曹張兩氏辭任理由

曹錕及び張懷之兩氏は數日前滿洲總統に宛て南伐軍司令を辭すべき旨を申出でたる。由は筋に情報あり其の理由は山東に土匪の跳梁甚だしく張懷之氏は一旦歸任を請ひ又曹錕氏は直隸に歸り一應軍政政略を謀りたき希望を陳べるに共に中央政府の答るゝところとなりしなり。且つ今回の南伐は徐樹錚氏が段氏の爲めに策畫せしものにて名を成すべく今回の南伐は徐樹錚氏が段氏の爲めに策畫せしものにて名を成すべく

尚ほ段氏の南巡は一週目の豫定なりとの入電ありしに、
樹錚氏が漢口にありて種々畫策し居れば果して一週目を以て

[illegible]

皇朝聯合成立せしむるは、僅かに止値より七八錢安に解合ふは買方の利益のみにて客の利益を度外視せるものと憤慨せる向き多ければ商賈は免かれず大興特也

るもの即ち除外品中の粒穀にも米のみは除かれ屠りしが最近同地商人よりの打電に依れば米穀の替出しを請ひ來うて朝鮮汽船の捕鯨線次便平安丸には同地よりも相當積

生牛を加へたのは、實際畜相の付きてあつたのだ、又朝鮮銀行の改正に關しても反對論があつたけれども、前韓總裁たりし勝氣相の骨折りで議會の同意を得

萬事好都合 殖産銀行法發布期
鈴木度支部長官談

木度支部長官を發條の一瞬に
出迎ふれば、京城にはモツ春が
訪れて來たので、發條は春を
はきはきしたなか、吾輩は東京派
に中々心を傾ぐ。上野の
閑居を念ふせらるゝが爲めに、彼
の共通法の如きは、前所聞に於て
調査研究されて居たが、又同
時に有力なる必要學者もあり
たので、
目下逐條審議中である
多分來月の下旬中に終
了、中旬迄には發布せしむる
中、中法、

成つたので、例年に比して總監、いふ確證もあつた位に、然るに多に解かでした、と、薔薇の花の噂を、年朝統治の任に膺り、朝鮮の事案が一時に持込まれた折りを、折衷官中病人が出たりなぞして、

◆静養の必要
はあはれ
花のは、全く
あつたが、之も
溜り無く通過し
は何うも已むを得ない

石油更に値上 米國の石油
油盤製增加に輸出制限を加へらる
に至りたるを相俟つて揮發油の
需きは春來六回に三圓十五錢の方
へ出張、即日歸任せり

開屋學務局長 總督府學
務局長關屋嘉次郎氏は二十一日大
田中學校開校式に臨場の爲め同地
へ出張、即日歸任せり

に對し一箱二十錢方の値上げを發表するに至りたり斯くの如く需給關係の不均衡に依る値上げは内油の値上げを助長するに至り石油の値上げを始めとして各社一齊に批發油一箱に就き一圓石油二十五錢方以下五名を随へ二十二日午後四時

●金久保少將檢閲 歩兵
第四十旅團長金久保少將は大邸歩兵第八十聯隊檢閲の爲め二宮副官

同伴二十一日夜歸任せり

相馬奔騰の勢甚しく既にプロ
 産地の賣惜みに依る品薄を始め
 孟買市場恐慌取引の旺盛等に依り
 張師任の途次廿日夜入京一泊し廿
 一日期前夜等々別段上落となく

山川參事官出發 海軍省
 參事官山川端夫氏は北緯方面に出

る爲め印度政府の調節概さへ流布せらるゝ位なるが印棉白國は實勢

▲鈴木隆氏(慶尚北道長官) 同上巴城領へ
▲河原大助氏(東京建築家) 同上
▲吉川源太郎氏(同上) 同上
▲佐々木藤太郎氏(慶尚南道長官) 同上
▲天眞

狂奔期を見送り本年棉作の成績並
に棉相場の變化如何を見て僅に先
取買を開始するも改めて遅からざ
る

久米爲之助氏 東京に在る 同上朝鮮ホテ
田邊敏行氏(同上) 同上
利古法所兵衛(同上) 同上

謝罪せられ先づ本年は不慮の補
 充に於て済すべきを以て櫻花準
 を急ぐ要なき唯明年の櫻花御
 前に就き多少参上の狀なりと
 夏物空前高直 夏向縮絨
 巴イカル州の露族の家に蒙古婦
 人を嫁して生れた者である 郡
 々の熱血浪で彼のみ指す處は家
 族にあると云ふが蒙古土族を結合
 するの關係で大分重要なる一環

眞家の買氣は案外に旺盛の模様なら
 問屋側の質器註文は昨今各
 酷いもので何れも之れも鮮詰にか
 小便にも行けなければ辨當も買

空前の高値となり久米留新上品十も出来ない有様▲日本の汽車も近
頃内外を唱へ普通品七八圓の見
頃の混雑方では大分露西亞に似て
なれば一般の需裝は寧ろ銘飾物の
來たやうぢやないかと最近歸朝者

五月號

出来たらしく、
お待たせのお友達が

東京本町

博文館

少年世界

お加小槌の大助

少年小槌の海賊

野郎物語

鯉捕り遊び

人告鵠


お加小槌の海賊

鯉捕り遊び

金價定 五十錢 一銭 水原 日本 舞の 加南 國 性 英國 物球 野郎 少年 小説 加小 助大 小槌 海賊 物語 鯉捕 遊び 人告 鵠 加小 槌の 海賊

少女世界

お母様によはれて……沼田吾郎
 お嬢様ごっこ……少女家事情
 美くしいおさい……中川龍子
 おお母様が居たり……星城史郎
 活別巻の後……尾崎みどり
 国のお母様をグッ……堀谷小波
 私が勉強になつた事
 止まる見えてから……荒木敏子
 女子さんの模範……中山敏子
 のピエ……瀬川由子
 國語物語が流る……雨はふらふら大
 怖はな！ 飛び……廣のたて犬！
 金價五十錢一稿


 總預金 貳億貳千六百萬圓
 電話 二二三七番
 株式會社 **第一銀行**
 支店 京城
 支配人 西村道彦
 頭取 佐々木勇之助

右謹啓者 朝鮮人 南部臨時建築科 3
 就水知 年四月 二日
 大正七年四月二日
 朝鮮駐劄軍經理部

